

こんにちは、2年6組文系チームです！朝晩肌寒くなってきました。これからは日一日と山々の木々が赤みを帯びていきますね。さて、今回は先日行われた「科学きらきら祭り 2015 in 蕪高」について紹介します。

\*\*\*\*\*

10月4日(日)に「**科学きらきら祭り 2015 in 蕪高**」と題した実験工作教室を開催しました。地域の小中学生に科学の面白さを知ってもらうためのイベントで、3回目となる今年は16種類のブースに小学生147人、中学生27人、保護者88人の計263人が参加してくれました。本校の生徒と共に蕪崎東中の先生(1名)にも参加していただき先生役になりました。ここで地域の恒例となりつつあるイベントの内容を簡単に紹介します。



番号	ブース名	こんなことをしました！
①	スライム作り	洗濯のりとあるものを混ぜると簡単にスライムができます。
②	光の万華鏡を作ろう	7色の光が織り成す万華鏡に大歓声。秘密は分光シート。
③	紙コップトボを飛ばそう	紙コップでプロペラ作り。くるくると空まで飛んでいきます。
④	炭酸ガス入浴剤を作ろう	重曹とクエン酸で簡単入浴剤作り。おうちで使ってくれたかな？
⑤	電気くらげで遊ぼう	静電気で梱包ひもくらげがふわふわと空中浮遊。
⑥	ポニョのぽんぽん船作りに挑戦	なんとポニョの映画にもでてきたあの船を再現！
⑦	アントシアニンで色変わりフラワー作り	植物の色素で、楽しく酸と塩基について学びました。
⑧	液体窒素(-196℃)の超低温な世界	液体窒素を使った実験を目の前で行いました。
⑨	火薬を使ったモデルロケット発射実験	モデルロケットを使ってロケットが飛ぶ構造を学びます。
⑩	ダンボール箱の空気砲で遊ぼう	テレビでおなじみの空気砲！みんなで楽しく遊びました。
⑪	プラネタリウムで星空散歩	秋の夜空を神話を交えてみなさんに紹介しました。
⑫	ミラクルフルーツを体験してみよう	レモンが甘い?!味が変わる不思議な体験。
⑬	電気パンを作ろう	電気を流すとゆっくりふくらみ、おいしいパンが出来上がります。
⑭	静電気を体験しよう	ドキドキ。静電気をためて手をつないでみんなでビリリ！
⑮	光る実験コーナー	2つの薬品を混ぜると不思議な現象が！
⑯	平成錬金術Ⅱ	アルミが金に変身しちゃう?!秘密は玉ねぎです。

どのコーナーも大盛況で校内のあちこちで子供たちの歓声や笑顔がみられました。理系のイベントのようにみえますが私たち文系組や1年生の普通科有志メンバー、それに生徒会本部の皆さんも運営に参加し、半日間子供たちと科学の世界を楽しみました。

※「科学きらきら祭り」に関して、SSH主任である成嶋先生と副主任の芦沢先生へのインタビューをしてみました。

Q.きらきら祭りはどのような経緯で始まりましたか。

A. (成) 地域の理数教育の発展に貢献するためです。子ども達に科学の楽しさを知ってもらうことは大事なことだと思います。また、本校の生徒が教える側に立つことで、科学をより深く理解できると思ったからです。

(芦) 私が以前県立科学館に勤めていた時に、同じようなイベントがあり好評だったので、それを韭高でもやってみたく思ったんだよね～☆

Q.どうして名前が「きらきら」なんですか

A. (芦) お告げ(ひらめき)！子どもが目をきらきらさせてくれるから！！



なるほど！ネーミングにもそのような経緯があったのですね。「科学きらきら祭り」やサイエンスについてもっと知りたい人はSSH事務局(生物準備室)へGOです！最後に来校してくれた小中学生とサイエンスボランティアとして参加したみなさんの感想の一部を紹介します。

#### 小中学生の感想

- 味の変化はすごく面白かった。それにおいしかった。(ミラクルフルーツ)
- いい香りがしたし、作ることができて楽しかった。(入浴剤)
- 実際にスライムを作ったのは初めてで感動した。いい体験になった。(スライム作り)
- 説明が面白かった。液体窒素に物を入れると、縮んだり硬くなったりすることがわかって楽しかった。(液体窒素)
- 板にはさむだけで生地が焼けるなんてびっくりしました。(電気パン)
- 本当にポニョの船みたいだったから楽しかった。(ポニョのぼんぼん船)
- 光の3原色のことを知れた。光るのにびっくりした。(光の実験)
- お兄さんお姉さんたちが優しく教えてくれました。また来年も来たいです。etc...

#### 生徒の感想

1年6組 今福菜月さん：今回始めてきらきら祭りに参加し、電気パンのコーナーを担当しました。自分が子供達にわかりやすく教えることができるのかとても不安でしたが、子供達が楽しんでいる姿や、わくわくした笑顔を見て、とてもうれしく感じ、半日があっという間に過ぎていきました。子供達に教えたり質問に答えたりするのはとても楽しかったです。来年のきらきら祭りでも、子供達が科学を楽しみ、体感し、理解できるようにこれからも自分に磨きをかけていきたいと思っています。

2年6組 小澤佳弘さん：去年と同じロケットのブースを担当しました。ロケットについての知識があまりなかったので、今年はロケットの構造や原理を事前に調べたうえで、きらきら祭りに臨みました。子供たちに難しい内容をいかにわかりやすく、いかに簡潔に説明するかということが正直大変でした。しかし、自分なりに工夫して取り組めたことで、教えることの大変さと同時にわかてもらえたときの喜びを感じることができました。私は将来教師になることを目標としているので、非常に有意義な体験になりました。